

風疹の免疫は 持っていますか？

風疹は妊娠中に感染すると胎児に先天性風疹症候群を起こすことがあります。
先天性風疹症候群とは白内障、先天性心疾患、難聴など赤ちゃんに障害が残ってしまうことで
す。妊娠初期の12週までに起こりやすい疾患です。
この病気の怖いところは、**妊娠に気付いてない初期に、母体が風疹に感染してしまうこと**です。
風疹に罹らない、感染しないためにも、妊娠を望む方は以下のことに注意しましょう。

🦋 抗体検査をしてみましょう

過去に風疹がかかったり、抗体検査で問題がないと診断された方は心配ありませんが、り患歴がわからない、予防接種をしたことがない方は一度抗体検査をしてみましょう。

🦋 人混みは避けましょう

🦋 手洗い・うがいは念入りにしましょう。

🦋 予防接種をしましょう

抗体が無い方、低抗体価の方は予防接種をしましょう。

- ・妊娠中はワクチン接種できませんので注意しましょう。
- ・接種後2ヶ月間程度の避妊が必要です。
- ・出産後、授乳中の場合は予防接種可能です。

家族も予防接種を 受けましょう

～自分のため、周りのため～

今年は風疹が流行しています。風疹は主にくしゃみや咳などの飛沫によって感染し、感染力が強いと言われています。

「もし知らずに自分が風疹にかかっている、抗体のない妊婦さんが近くにいたら…」
電車やバスや人混み…例え知らない人であったとしても、考えるとゾッとしますよね。

女性だけの問題でなく、同居されるご家族は勿論、妊娠を希望されている方や妊婦さんが周囲にいる場合は特に気を付けていただきたいです。

日本では30代～50代の男性の風疹予防接種率が低く、免疫を持っていない可能性がある方がたくさんいます。

パートナーや赤ちゃんを守るため、予防接種を積極的に受けましょう。

抗体価検査
予防接種
問い合わせ先

丸の内病院健診センター 0263-28-0055 (要予約)

- 抗体価検査 HI 法 4,687 円^{※1}
- 風疹予防接種 5,486 円^{※2}

※1 検査方法は目的によって方法・料金が異なります。
※2 2019年4月に価格改定予定